

【字部市立二俣瀬小学校グランドデザイン】

「学校教育目標」と「令和6年度重点目標」の実現に向けて

憧れの進路

【厚東川中学校区小中一貫教育】 「志をもち、絆を大切に、共に未来を創る 児童生徒の育成」

めざす児童生徒像

- あいつができる子
- 誰にでも優しくできる子
- 自分に自信がもてる子
- 粘り強く頑張る子
- ふるさとが好きな子

生きる力から
生き抜く力へ

学校教育目標

よく学び、よく遊び、ともに伸びゆく二俣瀬っ子の育成

豊かな人間性【人間関係形成力】

やさしく〔みんなと仲良くできる思いやりのある子〕

- 感動ある行事や体験活動を通して、自己肯定感を高め、自分に自信がもてる子を育てる。
- 特別の教科道徳・人権教育の充実により、誰にでも優しく、思いやりの心を育てる。
- 地域のひと・もの・ことを活用した教育活動を展開し、ふるさとが好きな子を育てる。

健康・体力【自己調整力】

たくましく〔大切な心と体を守り鍛える子〕

- 計画的な体力向上の取組と戸外遊びの推進により、積極的に運動に取り組む意欲や習慣を育てる。
- メディア・コントロールを心がけ、心身ともに健康な生活を営むことができる基本的な生活習慣を育てる。
- 安全教育を充実させ、危険予測能力を育てる。
- 食育指導の充実により、「食の自立」をめざす。

資質・能力の育成【読解力・表現力】

かしこく〔よく考える子〕

何ができるようになるか

◆学校教育の基本

- 既習事項や体験を生かしながら、課題や問題に対して自分の考えをもつことができる。
- 学び合いを通して、多様な考えを受け入れ、自分の考えを深めることができる。
- 自分の思いや考えを分かりやすく話したり、文章で表現したりできる。

何が身に付いたか

◆学習評価を生かした学習指導の改善

- 「学習のやくそく」を生かし、以前の学習内容や体験をつなげたり比べたりするなどして、課題や問題を解決しようとしている。
- 自分の考えをもち、話し合いや学び合いを通して、考えを深めながら、説明したり文章で表現したりしようとしている。
- ◎基礎学力・語彙力の向上
- ◎自分の思いや考えをよりよく伝えるための表現力の育成

【子どもの実態】

- 明るく素直で、元気に活動できる。
- 全校で取り組む活動で、学年を超えた人間関係を育んでいる。
- 与えられた課題には頑張っており、取り組むが、さらに上をめざして工夫することは少ない。
- 複式・小規模校であり、メンバーが変わらないため人間関係が固定化しがちである。

子どもの発達をどのように支援するか

◆配慮を必要とする子どもへの指導

- 個に応じたきめ細かな指導・支援
 - ・支援員、SC、SSW、関係機関、保護者との連携
 - ・個の思いや行動の価値付け
- 教職員間で情報共有、協働での個別の支援
 - ・校内支援委員会の機能の充実
- 分かる授業・楽しい授業の創造
 - ・ユニバーサルデザインの視点からの授業づくり

【めざす子どもの姿】

ひたむき・ぬくもり・さわやか

- 【ひたむき】
 - ・目標や志に向かって努力する。
- 【ぬくもり】
 - ・互いのよさを認め合う。
- 【さわやか】
 - ・さわやかなあいさつ、返事をする。

何を学ぶか

◆教育課程の編成

- 教育活動全体を通じた読解力、表現力の育成
- 学年や個の実態に応じた反復指導による基礎基本の定着
- 家庭と連携した学習習慣の確立と読書習慣の定着
- 小1から中3までの9年間を見通した授業づくり
(小中一貫教育の推進)

どのように学ぶか

◆教育課程の実施

- 「二俣瀬スタイル」確立による複式授業の充実
- 課題設定の工夫と振り返り活動の充実
- 多様な学び方の育成による自ら学ぶ力の向上
- 特別支援教育の視点を生かした授業改善
- 自主学習の手引きを活用した学習習慣の定着

実現に向けて何が必要か

◆指導体制の充実、家庭・地域との連携協働体制

- 「チーム二俣瀬」としてのカリキュラム・マネジメント
- 外部講師を招聘した校内研修の充実による授業力向上
- 厚東川中学校区小中一貫教育の推進
- コミュニティ・スクールの充実・活性化
- 学校運営協議会との連携強化
- 子どもと向き合う時間を確保するための働き方改革
- 学校からの情報発信と家庭・地域との情報共有

安心・安全を守る

- 「学校安全マニュアル」に基づく教育活動全般の安全対策
- 防災・交通安全・生活安全を含めた安全教育の推進

開かれた学校づくり

- 地域関係者（諸団体）、育友会との連携、協力、協働
- 学校だより、学校HP、安心・安全メールの充実・情報発信